



# 風は海から

令和3年6月30日  
令和3年度  
横浜市立西富岡小学校  
学校だより7月号 No.4

## 伝統をつなぐ

横浜市立西富岡小学校

校長 黒田 由希子

6月29日は西富岡小学校の創立記念日でした。そのお祝いとして16日、西富岡小学校の創立記念集会が行われました。コロナ禍のためテレビ放送になってしまいましたが、この日のために、集会委員会の子どもたちがいろいろアイデアを出し、西富岡小学校ビンゴでは、学校豆知識を紹介したり、誕生日おめでとうの気持ちを歌に込めたりするなど、全校児童で西富岡小学校の誕生を楽しくお祝いしました。

西富岡小学校は、今から49年前の昭和48年に、16学級、651名で開校しました。記念すべき第1回卒業生は6年1組40名、6年2組38名の合計78名でした。校長室に当時の卒業アルバムがあったので読んでみると、西富岡小学校が深い緑に囲まれていること、青空が広がっていること、うぐいすのさえずりが聞こえてくることなど、自然がいっぱいあり、新鮮な空気を思う存分吸いこむことができるよさについて書かれている文が多くありました。それは、開校した昭和48年ごろの日本が、高度経済成長を遂げた反面、工場から出る煙や自動車の排気ガスなどによる光化学スモッグで大気汚染が広がり、空がどんよりと曇っていた時代だったからなのでしょう。地域によっては、屋外での運動が一切禁止になることもあったそうです。そのような状況の中で、西富岡小学校は、子どもたちが生活し、学習するのにいかに最適な環境だったのかがええました。また、卒業文集にあるスナップ写真は、時代を感じるころもありますが、運動会や日光修学旅行などの行事、委員会やクラブ活動、休み時間や給食時間での楽しい語らいの様子など、今の学校生活と変わらないところもあり、ここに載っている卒業生たちが、49年という年月を経て、それぞれに夢を叶え、今では立派な大人になり生活していることを思うと、感慨もひとしおでした。

西富岡小学校は来年、**令和4年度に創立50周年を迎えます**。コロナ禍での周年となりますので、どのような活動ができるのか、模索しているところです。子どもたち自身が、西富岡小学校の伝統、よさを感じ、これからの未来を切り開いていく夢と希望がもてる周年行事にしていきたいと考えています。今年度から少しずつ準備を始めていきますので、保護者、地域みなさまには、温かいご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



西富岡小学校マスコット  
「にしふちゃん」